

# ジェイアールバス東北本部

第12号

2022年11月7日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内

NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983

発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

## 申3号「2022年度年末手当に関する申し入れ」について趣旨説明を行う！

ジェイアールバス東北本部は2022年11月7日、申3号「2022年度年末手当に関する申し入れ」について趣旨説明を行いました。主な議論経過は以下の通りです。

### 【組合】

- コロナ禍ではあるが2022年度第2四半期決算の営業収益は黒字となり、行動制限の緩和や国際的な人の往来再開により、着実に輸送人員が増えており明るい兆しが見えている。
- 要員不足の中、8月の豪雨災害による列車代行輸送に積極的に協力するなど現場の組合員・社員の奮闘により収入を確保できた。
- 組合員・社員は、厳しい状況の中でも休日出勤や助勤に協力し、会社の持続的な経営のため、日々安全・安定輸送に取り組んでいる。
- コロナ禍での年収減や物価上昇により組合員・社員の生活が逼迫しており、このままでは人材流出が止まらない。
- 人材流出を防ぐためにも「人」への積極的な投資をすることで、魅力ある会社をつくり出すべきである。
- 今回の回答次第で退職を考えている社員もいる。人材流出を防ぐためには満額回答しかない。

### 【会社】

- ◇要員が厳しい中で、列車代行輸送や繁忙期輸送に協力頂き御礼申し上げる。
- ◇2022年度上期決算は、営業損益で計画を上回る1800万円の黒字となった。一方、年初計画比で輸送収入は2億4千万円、営業収入全体でも1億8千万円下回り目標を達成出来ていない部分では大変厳しい状況に変わりない。
- ◇黒字額は僅かであり、新型コロナウイルス感染症など不安定要素もあるため依然として厳しい状況であることは理解して頂きたい。
- ◇社員の思いは理解している。しかし、会社を持続的に維持させていかなければならないため全体の収入も考えなければならない。その中で要求額までは厳しいというのが本音だが、10月の収入も見ながら最大限どのくらい出せるか議論していく。

人材流出を防ぐため要求満額獲得に向けて、職場の声を結集しよう！